



マカロン

二宮 由紀子

プロフィール

00年、「ハリネズミのブルブル」シリーズで赤い鳥文学賞を受賞。09年『らったらった らくだのらっぱ』で、「あいうえおパラダイス」全九巻が完結。

いま、もしだけれが、ゆうくんの家に来て「わっ、かわいいねこ」っていったとしたら、それはマカロンのことをいってるんだな、って、みんながわかる。マカロンはねこで、マカロンのほかは、だれもねこでないから。

でも、そのひとがただ「わっ、かわいい」ってだけ、いったとしても、ああ、それはマカロンのことをいってるんだな、って、みんなが思う。

もちろん、マカロンは自分では、自分のことを「かわいいねこ」だなんて思っていない。自分では「きれいなねこ」だと思っている。

「かわいい」なんていうことばは、自分のきらきらしたレモンのかたちの目や、きりっと三角にとがった耳をほめるには似つかわしくない。これらはやはり、どう考えても「きれい」といわれるべきであって、「かわいい」などというべきものでない。人間たちときたら本当に「きれい」と「かわいい」のちがいはわからないのだ。マカロンは、人間のほとんどは、ばかだと思っている。

マカロンは、ばかじゃないから、自分がきれいなねこだってことを別にひとからいわれなくたって、よく知ってる。人間にぎゅうぎゅうだきしめられたり、しっぽや頭をさわられることも、気もちわるいだけなんだから、ほっといてくれたらいいのと思ってる。

でも、カッキなんかは「よかったね、マカロン。ほめられたよ」とか、「いいね、マカロン、だっこしてもらったね」とか、そのたびにうるさくいうのだ。マカロンは、めんどくさいから「ふん」とか「まあ」とか、いいかげんにこたえてるけど、でも、ときどきは、あんまりほめられたことのないカッキの気もちを考えて、かわいいそうな気になったりすることもまあ全然ないわけではないのだ。

ああ、だれかカッキのこともほめてやったらいいのに、とか、でも、カッキをだっこするのは家のなかでも、ゆうくん一人だけだしな、とか、まあカッキよりは、やっぱりどうしても自分のほうに、ひとの目が集まってしまうのはしかたないかな、とか考えて、ちょっと、しっぽの先を動